

つながり

発行：鳥取中央育英高等学校
PTA人権・同和教育推進委員会
委員長：中口一彦
第1号 2019年7月18日発行

「つながり」は、PTA人権・同和教育推進委員会の発行する会報です。今年度、第1号の「つながり」は、委員長・委員からのメッセージ、そして6月12日（水）に行われた人権教育LHR（ロングホームルーム）の様子について、掲載します。

・同推委員になって“これはいい”と思ったことは、自分が学びたいことを提案し、そのテーマで講演会や学習会を開催することができるということです。皆さんも日々の会話の中で、学びたいことを同推委員さんに、伝えてみてはいかがでしょうか。採用されるかもしれませんよ!?

・PTA人権に関わることは初めてなので、不安な気持ちでいっぱいです。でも皆さんと一緒にいろいろなことを話し、通じ合い、人権に関することを共に学んでいきたいです。今までは人権に関して、関心がなく、ずっと避けてきたこともありましたが、これからは避けて、委員の皆さんと共に考えていきたいです。

・いつもの暮らしの中での、何気ない会話や行動など、振り返るポイントはたくさんあります。委員会活動を通して各研修でたくさん学び、自分自身成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

・人権について学ぶ機会はありませんでしたが、推進委員みなさんの話し合いが、とても奥深いものがあり、すべての人が幸せでいられるために、改めて人権の大切さを学んで（伝えて）いけたらと思います。

・同推のPTA活動は、初めてで不安ですが、他の委員の方々と一緒に考えて、活動が有意義な私たちになればいいと思っています。よろしくお願いします。

・人権問題というものは、案外身近にあるものなので、見落とさないためにも、日頃からお互いを思いやり、理解して助け合える力を、委員会を通して学んでいきたいと思っています。

・初めて委員となりました。研修会や部会への出席等を通じて、学びを深める機会や、自分自身の価値観を改めて見つめる機会をいただいたと思っています。みなさまと一緒に、委員の活動へ取り組んでいきたいです。よろしくお願いします。



私たちが笑顔でいられるために

委員長 中口一彦

私たちが生きていく上で最も基本的で大切な権利、それが「人としての権利」、「人権」であり、私たちが「笑顔」でいられるために必要不可欠なものと言っても良いかもしれません。「人権」はそのように大切なものなのですが、日々の生活の中であまり意識することはないのではないのでしょうか。また、子どもたちの学校生活や大人の日常生活の中でも「人権」について改めて考え学ぶ場は、残念ながらそれほど多くはないようです。

この会報の裏面でも紹介させていただいていますが、3年生の人権教育LHR「公正な進路保障に向けての取り組み」（6月12日開催）の中で扱った「全国統一応募用紙」や「面接時の違反質問への対応」は、十分ではないにせよ「就職差別」から子どもたちを守ってくれています。これは先人たちが、人権問題の解決に取り組んできた多くの成果の一つであり、今私たちが享受している権利や環境は「当たり前」にここにあるものではないことを、まず知っていただけたらと思います。

その上で、私たちの「人権」を大切にしていくためには、今そしてこれから何ができるのか、何をしていたいのか、あわただしい日々の生活の中ですが、今一度、考えてみる必要があるのではないのでしょうか。そこで、本校では人権・同和教育推進の取り組みの一環として、11月6日（水）にPTA全体を対象とした人権講演会、そして公開人権LHRを開催します。ぜひ、この機会に皆さんと共に学び、考えていきたいと思っています。

・今年で2年目になります。わからないまま1年が過ぎました。少しでもわかることができるようにやっていきたいと思っています。この会に参加させてもらって、言葉の難しさに気づかされます。自分も成長できるようにしていきたいです。
・委員として活動することを通して、人権について考える機会をいただくことができ、うれしく思っています。人と人とのつながりがより良いものとなるように願って、自ら学びつつ、子ども達を応援していきたいです。
・これまでも、学生生活や企業活動・地域社会を通じて人権研修を受けてきましたが、再び学ぶ機会をいただくことになりました。委員として研修に参加し、学ぶことで成長していきたいと思っています。



・今までの活動を通して気づけたことがたくさんあり、そして最後の一年が新たな気づきの時間となるよう、楽しく活動をしていきたいです。

第1回人権教育LHR

つながり合える
クラスを
めざして



6月12日(水)
の7・8限、今年度
第1回目の人権教育
LHRが行われまし
た。学年ごとのLH
Rの様子を紹介しま
す。

身の回りの人を傷つける言葉（1年）

1年のLHRのテーマは、「他人を傷つける言動と自分の行動」でした。さまざまな人を傷つける言葉について、それを言われた場合どのような気持ちになるのか、話し合いをしました。同じ言葉でも、人によって「言われても平気」「言われるのは嫌」など、感じ方はそれぞれです。相手の気持ちを考えながら言葉を使っていかなければならないことに、気づけたLHRになったのではないのでしょうか。



いじめについて考える（2年）

2年は、「You Tube」で公開されている劇を観て、いじめについて考えました。皆さんは、「いじめはいじめ側が100%悪い」と思いますが、それとも「いじめはしてはいけないけど、いじめられる側にも何らかの原因がある」と思いませんか？もしかすると、「いじめられる側にも何らかの原因がある」という考え方は、いじめを認める考え方につながってしまう部分があるのかもしれない。そのようなことを考えるLHRになったと思います。



就職差別を許さないために（3年）

3年生は、「公正な進路保障に向けての取り組み」をテーマに、学習をしました。居住地や国籍や家族構成などを理由に合否を決めるような就職試験は、絶対に許されないものです。そのような就職差別を許さないために、どのような取り組みが今までになされてきたのか、そして私達一人ひとりが何ができるのか、学習しました。



第2回人権教育LHRは公開授業になっています。11月6日(水)の15:05から、各クラスで行います。数少ない高校での授業参観のチャンスです。ぜひ、ご参加ください！